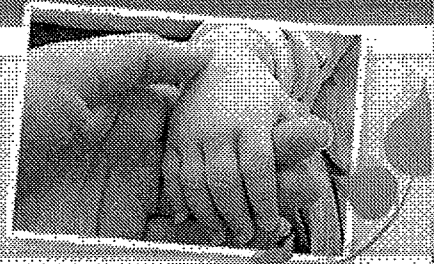


地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 病理解剖バイオバンク



トップページ

サイトマップ

トップページ > バイオバンクの利用を希望される研究者の方へ

- 倫理的配慮
- 規約・運営指針
- 一般の方々へ
- バイオバンクの利用を希望される研究者の方へ
- お問い合わせ
- このホームページについて
- リンク

パンフレットPDF
ダウンロード
(1,096 KB)

東京都健康長寿医療センター

病理解剖コラボレーション事業

高齢者JG-SNP

高齢者ブレインバンク

バイオバンクの利用を希望される研究者の方へ

バイオバンク事業では病理解剖例から採取された組織、核酸、タンパク質等を研究者に提供します。提供は臨床医学・基礎医学研究を目的とした場合に限りです。

- ・ バイオバンクを利用する研究者は、大学、公的研究機関に所属する研究者でなければなりません。
- ・ 利用を希望する研究者は、研究計画申請書を提出して下さい。研究計画申請書はウェブサイトからダウンロードできます。
- ・ 研究計画申請書はバイオバンク研究計画審査会及びバイオバンク倫理委員会で審査を受けて承認される必要があります。
- ・ 申請する研究計画は、研究者の所属する部門の長及び所属機関の倫理委員会の承認を得ることを前提とします。
- ・ 研究計画の承認を受けた研究者は試料配布契約申込書を提出し、契約を締結します。
- ・ 試料は無償とします。但し、研究者は配布試料の採取・管理に掛かる実費相当額および送料を原則的に負担するものとします。
- ・ バイオバンクから試料の提供を受けた研究者は研究終了後、研究実施経過／終了報告書を速やかに機構の会長に提出しなければなりません。
- ・ 研究により生じる知的財産権は、当該研究を実施した研究者に帰属するものとします。
- ・ 現在バイオバンクが保有している試料の内容については直接お問い合わせください。

研究計画申請書 Word (30KB)

試料配布契約申込書 Word (22KB)

研究実施経過／終了報告書 Word (63KB)

採取組織一覧

心左室壁	脾臓	リンパ節	腸間膜脂肪
左心耳	腎皮質	下垂体	皮下脂肪
上行大動脈	腎髄質	甲状腺	腕神経叢
下大静脈	尿管	上皮小体	腰椎椎体
肺末梢	前立腺	副腎	腰椎椎間板
食道	子宮頸部	腹部皮膚	肋軟骨
顎下腺	子宮体部	女性乳腺	喉頭
肝臓	精巣・卵巣	大腸四頭筋	気管
胆嚢	脾臓	横隔膜	大腿骨髄

[ページ先頭へ戻る]

トップページ | お問い合わせ | このホームページについて | リンク | サイトマップ

このホームページは平成21年度厚生労働科学研究費補助金創薬基盤推進研究事業「ゲノム研究プロテオーム研究に適用可能な病理解剖組織バンクの開発」の研究の一環として作成されました。

Copyright(C) TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY, All Rights Reserved.

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 病理解剖バイオバンク

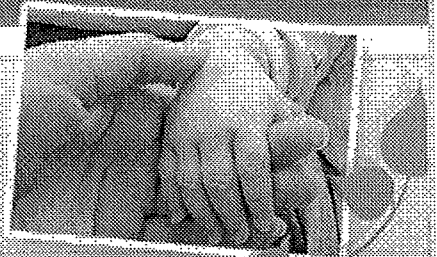


図 トップページ

図 サイトマップ

[トップページ](#) > お問い合わせ

- 倫理的配慮
- 規約・運営指針
- 一般の方へ
- バイオバンクの利用を希望される研究者の方へ
- お問い合わせ
- このホームページについて
- リンク

お問い合わせ

東京都健康長寿医療センター 高齢者バイオリソースセンター

住所: 〒173-0015 東京都板橋区栄町35-2

電話番号: 03(3964)1141 内2285

FAX番号: 03(3964)1982

Eメール: gentaeth@ftrng.or.jp

図 パンフレットPDF

ダウンロード
(1,096 KB)

東京都健康長寿医療センター

病理解剖コラボレーション事業

老年病SNPデータベース

JG-SNP

高齢者ブレインバンク

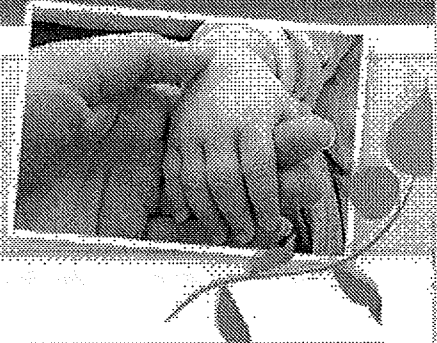
[\[ページ先頭へ戻る\]](#)

[トップページ](#) | [お問い合わせ](#) | [このホームページについて](#) | [リンク](#) | [サイトマップ](#)

このホームページは平成21年度厚生労働科学研究費補助金創薬基盤推進研究事業「ゲノム研究プロテオーム研究に活用可能な病理解剖組織バンクの構築」の研究の一環として作成されました。

Copyright(C) TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY, All Rights Reserved.

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 病理解剖バイオバンク



トップページ

サイトマップ

トップページ > このホームページについて

- 倫理的配慮
- 規約・運営指針
- 一般の方々へ
- バイオバンクの利用を希望される研究者の方へ
- お問い合わせ
- このホームページについて
- リンク

このホームページについて

病理解剖バイオバンク事業の内容およびホームページは平成21年度厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)の助成を受けて、以下の研究班での討議を経て作成しました。

研究課題:

ゲノム研究、プロテオーム研究に適用可能な「病理解剖組織バンク」の開発

研究代表者:

沢辺元司(東京都健康長寿医療センター・高齢者バイオリソースセンター)

研究分担者:

新井富生(東京都健康長寿医療センター・病理診断科)

清水孝彦(東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム・老化バイオマーカー)

戸田年総(東京都健康長寿医療センター研究所・老化機構研究チーム・プロテオーム)

村山繁雄(東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・神経病理学ブレインバンク)

パンフレットPDF
ダウンロード
(1,096 KB)

東京都健康長寿医療センター

病理解剖コラボレーション事業

高齢者SNPデータベース
JG-SNP

高齢者ブレインバンク

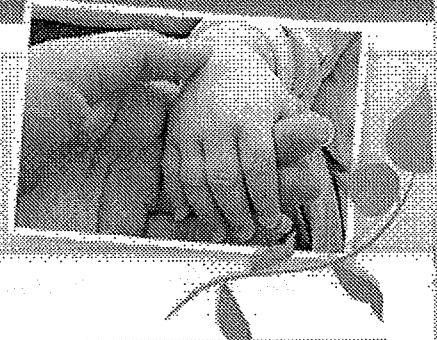
[[ページ先頭へ戻る](#)]

[トップページ](#) | [お問い合わせ](#) | [このホームページについて](#) | [リンク](#) | [サイトマップ](#)

このホームページは平成21年度厚生労働科学研究費補助金創薬基盤推進研究事業「ゲノム研究プロテオーム研究に適用可能な病理解剖組織バンクの開発」の研究の一環として作成されました。

Copyright(C) TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY, All Rights Reserved.

地方独立行政法人 東京都健康長寿医療センター 病理解剖バイオバンク



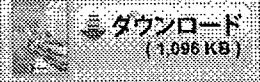
トップページ

サイトマップ

トップページリンク

- 倫理的配慮
- 規約・運営指針
- 一般の方々へ
- バイオバンクの利用を希望される研究者の方へ
- お問い合わせ
- このホームページについて
- リンク

パンフレットPDF



東京都健康長寿医療センター

病理解剖コラボレーション事業

老年病SNPデータベース
JG-SNP

高齢者ブレインバンク

リンク

- 東京都健康長寿医療センター病院
<http://www.tmgiz.jp/hospital/>
- 東京都健康長寿医療センター研究所
<http://www.tmgiz.or.jp/TMG/J/index.html>
- 東京都健康長寿医療センター高齢者バイオリソースセンター
<http://www.tmgiz.jp/br.csr/>
- 東京都健康長寿医療センターコラボレーション事業
<http://www1.tmgiz.jp/gerontology/>
- 高齢者ブレインバンク
<http://www.mci.ac.jp/BrainBank/>
- 老年病SNPデータベース
<http://www1.tmgiz.jp/ger-ano/japanese/top.html>
- 厚生労働省
<http://www.mhlw.go.jp/>
- 日本病理学会
<http://www.jpnpa.ac.jp/>

[[ページ先頭へ戻る](#)]

[トップページ](#) | [お問い合わせ](#) | [このホームページについて](#) | [リンク](#) | [サイトマップ](#)

このホームページは平成21年度厚生労働科学研究費補助金創薬基盤推進研究事業「ゲノム研究プロテオーム研究に適用可能な病理解剖組織バンクの構築」の研究の一環として作成されました。

Copyright(C) TOKYO METROPOLITAN GERIATRIC HOSPITAL AND INSTITUTE OF GERONTOLOGY. All Rights Reserved.

高齢者ブレインバンク運用要綱

(平成17年4月1日改訂)

(設置)

第1条 東京都老人医療センター（以下「医療センター」という。）・財団法人東京都高齢者研究・福祉振興財団東京都老人総合研究所（以下「研究所」という。）は、老化に伴う運動・認知機能障害の予防・治療に貢献する研究に役立てるため、医療センター剖検脳を適切な処置の上保管・運営する機構として、高齢者ブレインバンク（以下「ブレインバンク」という。）を設置する。ブレインバンク運営費用は、医療センター・研究所経費、ブレインバンクの獲得した公的研究費を以て、充てる。

(診断・管理・運用責任)

第2条 ブレインバンクは、医療センター・研究所の共同管理とし、兼職及び兼務研究の共同体制の基に、ブレインバンク責任者が、診断・管理・運用責任を負う。

(構成)

第3条 ブレインバンクは、責任者（総括）、執行医（採取・神経病理学的診断・品質管理・資源提供及びデータベース作成）、技術員（資源凍結・保管・神経病理診断用標本作成及びDNA診断）、事務官（事務及びデータベース管理）で構成する。

(資源の活用)

第4条 ブレインバンク内の資源の活用は無償とし、ブレインバンク責任者を共同研究責任者とする共同研究ベースで行い、単なる資料提供組織とはしない。また、共同研究は、ブレインバンク責任者への申し込みを行うことによって、手続きを開始する。共同研究の前提として、死体解剖保存法18条、老人医療センター剖検承諾書を遵守するものとする。

(守秘義務)

第5条 ブレインバンク責任者は、ブレインバンク執刀医、神経内科責任医長、センター剖検病理科部長、研究所自然科学系副所長・外部委員（複数）からなる、ブレインバンク委員会委員長として共同研究の審査を行い、可否を決定する。外部委員の任命は、ブレインバンク責任者が行う。研究内容に関しては論文査読と同様の守秘義務を申請者に負うことを前提とする。

(臨床・病理情報の提供)

第6条 共同研究内容について、ブレインバンク執行医が神経病理情報の提供に責任をとるかたちで共同研究者として参画するだけでなく、神経内科責任医長が、臨床情報提供に責任をとるかたちで参画することが前提となる。

(委嘱資格)

第7条 共同研究者は、共同研究内容を前提に、研究所協力研究員として委嘱する資格を有することを、研究所研究推進会議で承認を受ける必要がある。研究テーマがひとつであっても、共同研究先施設が複数にわたる時は、施設毎に協力研究員を委嘱することが、剖検承諾書に基づく剖検資料の管理上、必須事項となる。また、申請者が、転出・昇任等により、研究ユニットから他施設への移動の可能性を有する職である場合、資源管理の面より、研究ユニットの責任者も同時に、研究所協力研究員として委嘱することで、責任体制を明確にする必要がある。老人総合研究所研究員が研究所内部で行う研究については、この必要はない。

(倫理委員会の承認)

第8条 前条の共同研究の前提として、研究面からは研究所倫理委員会の承認が、臨床・病情報の使用に関しては医療センター倫理委員会の承認が必要である。さらに、共同研究先の倫理委員会の承認が必要である。

(個人情報の保護)

第9条 ブレインバンクを用いた研究に関して、資料の扱いは匿名化を原則とする。連結可能にするか、不可能にするかは、研究の性格をもとにした、倫理委員会の決定に委ねられる。

(資料の保管)

第10条 共同研究をベースに、共同研究者の施設に移転した資源の管理責任は、死体解剖保存法18条の規定により、ブレインバンクにあり、共同研究以外の用途に使用することは許されない。また、共同研究終了後、残った資源は、速やかに返却することを前提とし、不適切使用をもとに返還命令が出された場合は、共同研究者は直ちに応じなければならない。資源が共同研究者の施設に移転した場合、当該ブレインバンクの管理責任を明らかにする目的で、定期的(半年毎)に資源利用状況と成果に関する調査を行うことが、資源移転の前提となる。

(知的所有権)

第11条 ブレインバンク内の資源は、篤志によるもので、公共のドメインに属し、公共の福祉に貢献する目的の公的資源であるので、この資源を用いた共同研究で得られた知的資産の運用については、公的利益還元の視点のもと、ブレインバンク責任者との協議を前提とする。

附則：この要綱は、東京都老人医療センター、老人総合研究所倫理委員会双方の承認済みである。

東京都高齢者研究・福祉振興財団、東京都老人総合研究所、
老年病のゲノム解析研究チーム、研究部長(参事研究員)；

兼務：東京都老人医療センター 神経内科・剖検病理科

高齢者ブレインバンク責任者：村山繁雄

明日の高齢者医療は 私たちが創ります

健康長寿医療センターでは、「病理解剖コラボレーション事業」
として、これまでに蓄積された 9,000 例を超える病理解剖資
料を用いて、大学・研究機関の研究者と共に、多くの医学研究
を行っています

病理解剖の内容をご理解の上、
ご協力をお願いします

連絡先

地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター
高齢者バイオリソースセンター・病理診断科
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2
Tel. 03(3964)1141 内 2205 Fax 03(3964)1982
E-mail: centpath@tmig.or.jp

病理解剖コラボレーション (共同研究)事業

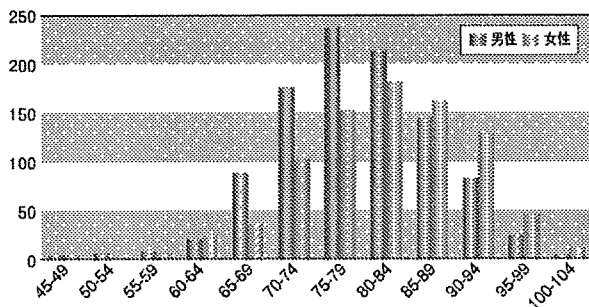
ホームページ URL
<http://www.tmg Hig.jp/pathology-d/>

 地方独立行政法人
東京都健康長寿医療センター

病理解剖コラボレーション事業について

東京都健康長寿医療センター病理部門では、これまでに 9,000 例を超える病理解剖を実施しており、病理解剖症例の全ての資料は整理され、独自に開発したデータベース“ANATOMY”に臨床病理学的所見を登録しています。我々は、健康長寿医療センターに蓄積された病理解剖資料を用いて、健康長寿医療センターおよび外部の大学・研究機関と共に、多くの臨床病理学的研究、医学研究を行っています。2009年4月より「病理解剖コラボレーション事業」を発足し、この共同研究をさらに推進しています。

東京都健康長寿医療センターにおける病理解剖症例の特徴



男女比 5 : 4

平均年齢

男性 79 歳

女性 82 歳

臨床診断

カテゴリー	診断名\症例数	男	女	計
		900	750	1650
循環器疾患	虚血性心疾患	15.4%	17.3%	16.3%
	心房細動	12.8%	12.3%	12.5%
	変性性弁膜症	4.4%	7.7%	5.9%
	高血圧症	28.0%	31.7%	29.7%
	動脈瘤	5.3%	3.5%	4.5%
	閉塞性動脈硬化症	4.6%	3.5%	4.1%
	痴呆症	10.6%	17.1%	13.5%
脳神経疾患	脳血管障害	30.6%	27.7%	29.3%
	パーキンソン病	2.0%	3.2%	2.5%
	糖尿病	15.3%	14.9%	15.2%
代謝・骨関節疾患	高脂血症	2.2%	1.9%	2.1%
	低栄養	2.8%	4.9%	3.8%
	骨粗鬆症	5.1%	14.7%	9.5%
	変形性骨関節症	4.3%	4.0%	4.2%
呼吸器疾患	誤嚥	7.6%	5.5%	6.6%
	慢性閉塞性肺疾患	14.6%	5.6%	10.5%
	特異性間質性肺炎	2.7%	0.5%	1.7%
泌尿器疾患・その他	尿路感染	2.2%	5.7%	3.8%
	前立腺肥大症	11.7%	-	11.7%
	褥瘡	2.7%	2.3%	2.5%
悪性腫瘍	肺癌	10.4%	6.4%	8.6%
	胃癌	11.8%	5.6%	9.0%
	大腸癌	4.2%	4.5%	4.4%
	造血器系悪性腫瘍	14.7%	12.1%	13.5%
眼科疾患	白内障	5.4%	8.7%	6.9%
	緑内障	1.0%	0.8%	0.9%

死因統計

男性

順位	分類名	度数	パーセント
1	悪性腫瘍	285	36.0%
2	肺炎	120	15.2%
3	心疾患 (高血圧性を除く)	83	10.5%
4	その他の呼吸器系の疾患	50	6.3%
5	消化器系の疾患	41	5.2%
6	脳血管疾患	38	4.8%
7	感染症及び寄生虫症	29	3.7%
8	慢性閉塞性肺疾患	25	3.2%
9	その他の疾患	120	15.2%
	計	791	

女性

順位	分類名	度数	パーセント
1	悪性腫瘍	235	34.7%
2	心疾患 (高血圧性を除く)	95	14.0%
3	肺炎	80	11.8%
4	脳血管疾患	48	7.1%
5	消化器系の疾患	46	6.8%
6	尿路器系の疾患	28	4.1%
7	その他の疾患	146	21.5%
	計	678	

共同研究を希望される研究者の方へ

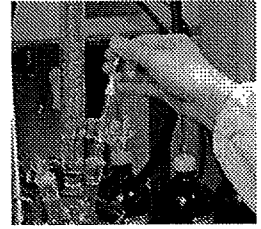
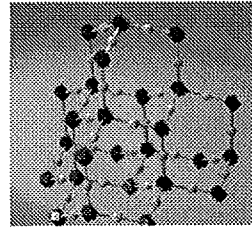
東京都健康長寿医療センター病理部門では下記表にある資料を保有しています。病理解剖コラボレーション事業では、これらの資料を用いた共同研究を公募しています。共同研究は「病理解剖コラボレーション事業運用要綱」（ホームページ参照）に則って行われます。共同研究を希望される方は、所定の申請書をホームページからダウンロードし、必要事項をご記入の上、Eメールにて提出して下さい。

臨床病理資料データベース（2009年4月現在）

種類	症例数	付記
パラフィンブロック	約 9,000 例	—
スライドガラス	約 9,000 例	—
写真資料	約 9,000 例	—
凍結臓器試料	約 2,200 例（1995 年以降）	心（左室）、肝、腎、食道、脳（後頭極）
DNA 試料	約 2,200 例（1995 年以降）	主に腎より抽出
生前に採取された血清試料	約 1,800 例（1995 年以降）	—

◎申請にあたっては「共同研究事業運用要綱」を参照の上、以下の点にご留意ください。

- 共同研究を希望する者は、大学・公的研究機関に所属する研究者でなければなりません。
- 共同研究は、東京都健康長寿医療センター倫理委員会の承認を受けなければなりません。
さらに、共同研究者の所属する研究機関の倫理委員会および部門の長の承認を受ける必要があります。
- 共同研究の申請内容が以下の要件に合致する場合は承認されないことがありますのでご了承ください。
 - ①他の組織バンクまたは研究資源で試料が容易に確保できる場合。
 - ②試料の採取により、ご遺体の外表や姿勢を著しく損なう場合。
 - ③同一または類似した内容での先行共同研究がある場合。
- 共同研究で得られた知的財産の運用については、公的利益還元の見地のもと、コラボ事業責任者との協議を前提とします。



病理解剖を承諾されたご遺族の皆様へ

東京都健康長寿医療センターでは、1972年の開設以来 9,000 例を超える病理解剖を行い、1 例 1 例について臨床診断が正しかったどうか、直接死因は何だったか、ということを確認してきました。それと同時に、病理解剖の資料は医学教育、医学研究にも用いられ、医学、医療の発展に大きな功績を挙げてきました。ここに、あらためて故人のご冥福をお祈り申し上げるとともに、ご遺族の方に感謝を表します。これまでの病理解剖資料は厳重に管理、保存され、現在も多くの研究に用いられています。

- 共同研究は、健康長寿医療センター倫理委員会の承認を受けたものだけが実施されます。病理解剖資料を研究に用いるにあたっては病理解剖承諾書を遵守いたします。
- 共同研究を行う際には、個人情報外部に漏洩しないよう厳重な管理の下で、病理解剖資料は匿名化し取り扱われます。
- 共同研究の中でもヒトゲノム・遺伝子解析研究を行う際には、「ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針」(文部科学省、厚生労働省、経済産業省)に従います。

病理解剖を承諾されたご遺族の方が、故人の病理解剖資料を研究に用いることを希望されないときは、お申し出により病理解剖資料の研究利用を取りやめることができます。その際は下記までご連絡ください。

病理解剖コラボレーション事業に関するお問い合わせ先



地方独立行政法人

東京都健康長寿医療センター

高齢者バイオリソースセンター・病理診断科

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2

Tel 03(3964)1141 内 2285 Fax 03(3964)1982

E-mail: centpath@tmig.or.jp

このパンフレットは平成 21 年度厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)の助成を受けて作成しました。



東京都健康長寿医療センター 病理解剖コラボレーション(共同研究)事業

ホーム

研究の紹介

倫理的配慮及び関連法規

ご遺族の皆様へ

病理解剖例の特徴

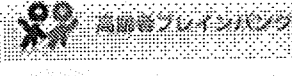
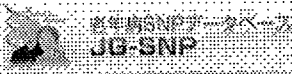
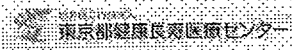
共同研究を希望される
研究等の方へ

共同研究事業運用要綱

お問い合わせ

このホームページについて

リンク



高齢者ブレインバンク

お知らせ 更新情報

- ▶ 2010年3月26日 2010年4月1日にウェブサイトの更新を予定しています
- ▶ 2010年1月1日 病理解剖コラボレーション事業Webサイトの公開を開始します

病理解剖コラボレーション事業について

東京都健康長寿医療センター病理部門では、これまでに9,000例を超える病理解剖を実施しており、臨床診断が正しかったかどうか？治療効果があったのか？直接死因は何か？などについて詳しく検討し、臨床担当医や亡くなられた方のご家族からの疑問に答えてきました。また、東京都健康長寿医療センターの前身である東京都老人医療センター開設以来の病理解剖症例の全ての資料は完全に整理され保存されており、独自に開発したデータベース"ANATOMY"に臨床病理学的所見を登録しています。

老年医学をはじめとする医学、医療には今なお未解決の問題が多数あり、我々は健康長寿医療センターに蓄積、整理された資料を用いて、健康長寿医療センター内部および外部の大学・研究機関と共に、多くの臨床病理学的研究、医学研究を行ってきました。これは病理解剖の法的根拠となる死体解剖保存法の趣旨に合致するものです。

このホームページでは健康長寿医療センターの病理解剖症例を用いて行われた過去および現在の共同研究を紹介すると共に、共同研究事業の倫理的配慮および関連法規などについて説明し、さらに新たな共同研究を募るために作成しました。また亡くなられた方のご家族の方への感謝の気持ちをあらわすと共に、ご家族の方とのコミュニケーションの場としても活用したいと思っております。

主なトピックス

■ 研究総覧 ■ 共同研究者代表(所属・職名)

■ 血清Lp(a)と酸化状態・脂質代謝の関連
沢辺元司

■ JG-SNPデータベースを用いた総動脈血酸素飽和度ならびに女性ホルモン代謝調節をコードする遺伝子多型の解析
鈴木基文(東京大学医学部附属病院 泌尿器科・男性科・特任講師(病院))

■ 骨髄骨質石灰化の初期発生について
沢辺元司(東京都老人医療センター剖検病理科・部長)

■ 高齢者腎臓の臨床病理学的特徴
新井富生(東京都老人医療センター臨床病理科・医長)

■ 切片上でのアポプロテインE多量の検出
村山繁雄(東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク・リサーチ)

このホームページは、厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)を受けて作成されました。

Copyright(c) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology



東京都健康長寿医療センター

病理解剖コラボレーション(共同研究)事業

ホーム

研究の紹介

倫理的配慮及び関連法規

ご遺族の皆様へ

病理解剖例の特徴

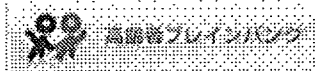
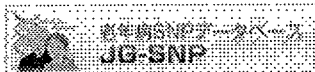
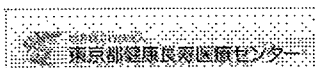
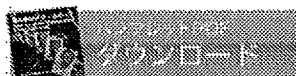
共同研究を希望される
研究者の方へ

共同研究事業運用要綱

お問い合わせ

このホームページについて

リンク



HOME > 病理解剖例を用いた共同研究事業一覧

病理解剖例を用いた共同研究事業一覧

次の15件 >

	研究課題	共同研究者代表(所属・職名)	登録日
1	血清Lp(a)と頸動脈硬硬化の関連	沢辺元司	2010/03/26
2	JG-SNPデータベースを用いた脳関連遺伝子多型ならびに女性ホルモン代謝酵素をコードする遺伝子多型の解析	鈴木基文(東京大学医学部附属病院 泌尿器科・男性科・特任講師(病院))	2009/01/01
3	億歳弁輪石灰化の初期発生について	沢辺元司(東京都老人医療センター一部検病理科・部長)	2009/01/01
4	高齢者胃癌の臨床病理学的特徴	新井富生(東京都老人医療センター臨床病理科・医長)	2009/01/01
5	切片上でのアポロタンパクE多型の検出	村山繁雄(東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク・リーダー)	2009/01/01
6	高齢者タウオバターの分子臨床神経病理学的研究	村山繁雄(東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク・リーダー)	2009/01/01
7	薬害と認知障害	村山繁雄(東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク・リーダー)	2009/01/01
8	大脳白質病変における血管因子	村山繁雄(東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク・リーダー)	2009/01/01
9	パーキンソン病発症危険遺伝子の解明	村山繁雄(東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク・リーダー)	2009/01/01
10	大動脈脈波伝播速度と頸動脈硬化度の関係について	沢辺元司(東京都老人医療センター一部検病理科・部長)	2009/01/01
11	子宮頸部ヒトパピローマウイルス感染の遷延と癌の発生	田久保海峯(東京都老人総合研究所老年病のゲノム解析研究チーム・チームリーダー)	2009/01/01
12	高齢者ブレインバンクの構築	村山繁雄(東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク・リーダー)	2009/01/01
13	病理解剖例を用いた全身動脈の頸動脈硬化度の加齢による変化、分布、性差について	沢辺元司(東京都老人医療センター一部検病理科・部長)	2009/01/01
14	巨血管を含む高齢日本人の濾過臓器重量について	沢辺元司(東京都老人医療センター一部検病理科・部長)	2009/01/01
15	加齢に伴い増加するミスマッチ修復遺伝子プロモーター領域のメチル化・マイクロサテライト不安定性を示す大腸癌の特徴	新井富生(東京都老人医療センター臨床病理科・医長)	2009/01/01



東京都健康長寿医療センター
病理解剖コラボレーション(共同研究)事業

HOME > 病理解剖例を用いた共同研究事業一覧

病理解剖例を用いた共同研究事業一覧

ホーム

研究の紹介

倫理的配慮及び審査法規

ご遺族の皆様へ

病理解剖例の特徴

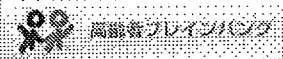
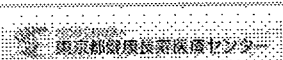
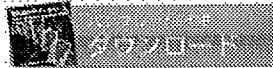
共同研究を希望される
研究者の方へ

共同研究業績運用要綱

お問い合わせ

このホームページについて

リンク



< 前の15件

	研究課題	共同研究者代表(所属・職名)	登録日
16	<u>パーキンソン病危険因子の解析</u>	村山繁雄(東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク・リーダー)	2009/01/01
17	<u>マクロサテライト不安定性を示す高齢者大腸粘膜癌・腫瘍型低分化腺癌との比較検討</u>	新井篤生(東京都老人医療センター臨床病理科・医長)	2009/01/01
18	<u>炎症性サイトカイン遺伝子の多型が病理学的状態悪化に与える影響の検討</u>	村松正明(東京医科歯科大学難治疾患研究所・教授)	2009/01/01
19	<u>頸状動脈硬化の病理的進展と脂質代謝異常</u>	村松正明(東京医科歯科大学難治疾患研究所・教授)	2009/01/01
20	<u>高血圧性心筋症(高血圧性心肥大・心不全)関連遺伝子の固定に関する研究</u>	木村彰方(東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野・教授)	2009/01/01
21	<u>加齢性難聴の病理組織学的研究</u>	木村百合香(東京都老人医療センター・医員)	2009/01/01
22	<u>総頸動脈と冠動脈の粥状硬化症の相関について</u>	沢辺元司(東京都老人医療センター剖検病理科・部長)	2009/01/01
23	<u>高齢者がん発生におけるDNA修復系異常の意義</u>	新井篤生(東京都老人医療センター臨床病理科・医長)	2009/01/01
24	<u>老人の癌と炎症関連遺伝子の一塩基多型に関する研究</u>	村松正明(東京医科歯科大学難治疾患研究所・教授)	2009/01/01
25	<u>変形性関節症の病態と進行機序の解明に関する研究</u>	福井尚志(国立病院機構相模原病院病態総合研究センター・研究部長)	2009/01/01
26	<u>冠状動脈疾患(心筋梗塞・狭心症)関連遺伝子の固定に関する研究</u>	木村彰方(東京医科歯科大学難治疾患研究所分子病態分野・教授)	2009/01/01
27	<u>加齢と癌の関係に関する研究—加齢により短縮するテロメア長の解析</u>	田久保海苔(東京都老人総合研究所老年病のゲノム解析研究チーム・チームリーダー)	2009/01/01
28	<u>レビー小体病は全身疾患であり、病変部の閾値を超えた時に症状が発現する</u>	村山繁雄(東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク・リーダー)	2009/01/01
29	<u>非喫煙COPD患者の臨床的・病理学的特徴についての研究</u>	高橋英気(東京都老人医療センター呼吸器科・チームリーダー)	2009/01/01
30	<u>老年病SNPデータベース(JG-SNP)の開発</u>	沢辺元司(東京都老人医療センター剖検病理科・部長)	2009/01/01

<< 前の15件

このホームページは、厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)を受けて作成されました。

Copyright(c) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology



東京都健康長寿医療センター
病理解剖コラボレーション(共同研究)事業

HOME > [病理解剖例を用いた共同研究事業一覧](#) > [血清Lp\(a\)と冠状動脈硬化症の関連](#)

血清Lp(a)を用いた共同研究事業一覧

研究課題名

血清Lp(a)と冠状動脈硬化症の関連

共同研究者

氏名	所属	職名
田中紀子	ハーバード公衆衛生大学院	客員研究員

研究内容

研究業績

#	論文名	リンク
1	Sawabe M, Tanaka N, Nakahara K, Hamamatsu A, Chida K, Arai T, Harada K, Inamatsu T, Ozawa T, Naka MM, Matsushita S. High lipoprotein(a) level promotes both coronary atherosclerosis and myocardial infarction: a path analysis using a large number of autopsy cases. Heart. 2009;95(24):1997-2002.	参照

ホーム

研究の紹介

倫理的配慮及び関連法規

ご遺族の皆様へ

病理解剖例の特徴

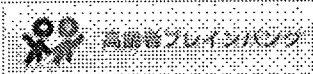
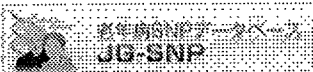
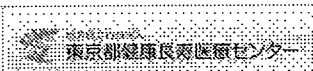
共同研究を希望される
 研究者の方へ

共同研究事業運用要綱

お問い合わせ

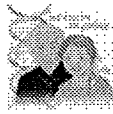
このホームページについて

リンク



このホームページは、厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)を受けて作成されました。

Copyright(c) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology



東京都健康長寿医療センター
病理解剖コラボレーション(共同研究)事業

- ホーム
- 研究の紹介
- 倫理的配慮及び関連法規
- ご意見の募集へ
- 病理解剖例の掲載
- 共同研究を希望される
研究者の方へ
- 共同研究事業運用要綱
- お問い合わせ
- このホームページについて
- リンク

HOME > 病理解剖例を用いた共同研究事業一覧 > JG-SNPデータベースを用いた癌関連遺伝子多型ならびに女性ホルモン代謝酵素をコードする遺伝子多型の解析

病理解剖例を用いた共同研究事業一覧

研究課題名

JG-SNPデータベースを用いた癌関連遺伝子多型ならびに女性ホルモン代謝酵素をコードする遺伝子多型の解析

共同研究者

氏名	所属	職名
鈴木基文	東京大学医学部附属病院 泌尿器科・男性科	特任講師(病院)

研究内容

東京大学医学部泌尿器科学教室の鈴木らは、エストロゲン代謝遺伝子catechol-O-methyltransferase (COMT)に存在するVal158Met多型が前立腺癌早期発症と関連すること、また前立腺癌治療薬リン酸エストラムステナトリウムの治療効果の判別に有効であることを見出した。Val158Met COMT遺伝子多型は乳癌及び前立腺癌の発症リスクに関連しているという報告がある一方、COMTが内因性カテコラミンの不活化に関連する酵素であることから、パーキンソン病、統合失調症の発症リスクにも関連していることが報告されており、様々な疾患(悪性新生物、精神疾患など)の発症リスクや発症年齢などと密接な関連があると思われる。そこで、科学技術振興機構(JST)と老人医療センターとで共同開発し、現在も運営しているJG-SNPデータベース(添付資料1)に登録された症例を用い、前立腺癌・乳癌に関連する遺伝子(HPC1, HPC2, AR, ER, Vit D receptor, CYP17など)の多型ならびに女性ホルモン代謝系酵素をコードする遺伝子(Val158Met COMT, CYP1A1, CYP1A2, CYP3A4など)の多型、疾患発症リスク、発症年齢などを検討する研究を計画した。

研究業績

#	論文名	リンク
1	Kurosaki T, Suzuki M, Enomoto Y, Arai T, Sawabe M, Hosoi T, Homma Y, Kitamura T. Significant association between the Lys262Arg polymorphism of CYP2B6 and the risk of prostate cancer in Japanese men. Int J Urol. 2009, in press.	
2	Suzuki M, Kurosaki T, Arai T, Sawabe M, Hosoi T, Kitamura T. The Val158Met polymorphism of the catechol-O-methyltransferase gene is not associated with the risk of sporadic or latent prostate cancer in Japanese men. Int J Urol. 2007;14(9):800-804.	参照
3	Suzuki M, Mamun MR, Hara K, Ozeki T, Yamada Y, Kadowski T, Honda H, Yanagihara Y, Ito YM, Kamayama S, Ohta N, Hosoi T, Arai T, Sawabe M, Takeuchi T, Takahashi S, Kitamura T. The Val158Met polymorphism of the catechol-O-methyltransferase gene is associated with the PSA-progression-free survival in prostate cancer patients treated with estramustine phosphate. Eur Urol. 2005;48(5):752-759.	参照

このホームページは、厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)を受けて作成されました。

Copyright(c) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology



東京都健康長寿医療センター
病理解剖コラボレーション(共同研究)事業

ホーム

研究の紹介

倫理的配慮及び関連法規

ご遺族の皆様へ

病理解剖例の特徴

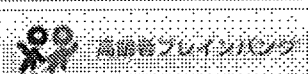
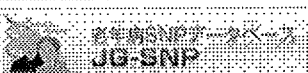
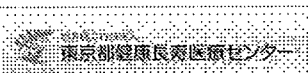
共同研究を希望される
 研究者の方へ

共同研究事業運用要綱

お問い合わせ

このホームページについて

リンク



HOME > 病理解剖例を用いた共同研究事業一覧 > 僧帽弁輪石灰化の初期発生について

病理解剖例を用いた共同研究事業一覧

研究課題名

僧帽弁輪石灰化の初期発生について

共同研究者

氏名	所属	職名
沢辺元司	東京都老人医療センター 剖検病理科	部長
Arounlangsy P	ラオス国立大学医学部病理学教室	講師

研究内容

僧帽弁輪石灰化(MAC)は高齢者の剖検例でしばしば見られ、変性性弁膜症を起こしうる。本研究では高齢者180連検剖検例の心臓を肉眼的観察、軟硬X線造影によりMACの有無を検討した。MAC症例では僧帽弁輪全体を5mm間隔で全て切り出し病理組織学的に検索した。女性では23%、男性では15%にMACを認めた。MACの大部分は僧帽弁後尖部に見られた。非MAC5例では全例で僧帽弁輪に顕微鏡的石灰化、脂質沈着を伴う変性巣を認めた。弁輪間質細胞はビメンチン陽性で少数の細胞は α -平滑筋アクチン陽性であり筋線維芽細胞への分化を認めた。電子顕微鏡的には間質に多数の細胞変性産物を認め、カルシウム、リン酸の沈着を認めた。多くの間質細胞が一本鎖DNA陽性でTUNEL反応も陽性であった。以上より、僧帽弁輪の顕微鏡的石灰化がMACの初期像であった。この顕微鏡的石灰化巣はおそらくアポトーシスや壊死をおこした間質細胞から放出された細胞変性産物にカルシウム沈着が生じることにより発生した。

研究業績

#	論文名	リンク
1	Arounlangsy P, Sawabe M, Izumiyama N, Koike M. Histopathogenesis of early-stage mitral annular calcification. J Med Dent Sci. 2004;51(1):35-44.	参照

このホームページは、厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)を受けて作成されました。

Copyright(c) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology



東京都健康長寿医療センター
病理解剖コラボレーション(共同研究)事業

HOME > 病理解剖例を用いた共同研究事業一覧 > 高齢者胃癌の臨床病理学的特徴

病理解剖例を用いた共同研究事業一覧

ホーム

研究の紹介

倫理的配慮及び関連法規

ご遺族の皆様へ

病理解剖例の精査

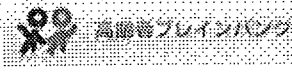
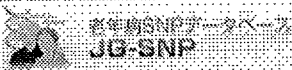
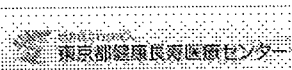
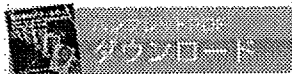
共同研究を希望される
 研究等の方へ

共同研究事業運用要綱

お問い合わせ

このホームページについて

リンク



研究課題名

高齢者胃癌の臨床病理学的特徴

共同研究者

氏名	所属	職名
新井 富生	東京都老人医療センター臨床病理科	医長
江崎 行芳	狭山病院病理部	部長
井下 尚子	虎ノ門病院病理部	医員
沢辺 元司	東京都老人医療センター創設病理科	部長
笠原 一郎	東京都老人医療センター創設病理科	医員
黒岩 厚二郎	東京都老人医療センター外科	部長
本間 尚子	東京都老人総合研究所老年病のゲノム解析チーム	研究員
田久 保海登	東京都老人総合研究所老年病のゲノム解析チーム	研究部長

研究内容

高齢者胃癌の加齢に伴う変化を明らかにするとともに、20年間にわたる変化を明らかにするために、1984-2003年の20年間にわたる胃癌切除例 994例(男性573例、女性421例、年齢中央値77歳)を対象とし、臨床病理学的に解析した。また、加齢変化(前期、中期、後期高齢者)、時代変化(前半10年と後半10年)も検討した。その結果、下部発生(胃体)の胃癌は後期高齢者で多い傾向にあった。肉腫型は隆起型が加齢に伴って増加傾向にあった。組織学的に早期癌の90%は分化型癌であり、この比率は加齢に伴って増加した。一方、進行癌では分化型癌と未分化型癌はそれぞれ50%、49%であった。多発癌は加齢に伴って有意に増加し、前期11%、中期13%、後期19%であった。時代変化としては、下部胃癌の増加がみられる一方、85歳以上で上部胃癌の減少が認められた。以上の結果より、高齢者胃癌の特徴として、加齢とともに下部発生、分化型癌、多発癌の増加が明らかになった。しかしその一方で、分化型癌は癌の進行とともにその比率が約1/2に減少し、癌の進行とともに組織型の多様性が增大することが示唆された。

研究業績

#	論文名	リンク
1	Arai T, Esaki Y, Inoshita N, Sawabe M, Kasahara I, Kuroiwa K, Henma N, Takubo K. Pathologic characteristics of gastric cancer in the elderly: a retrospective study of 994 surgical patients. <i>Gastric Cancer</i> . 2004;7(3):154-159.	参照

このホームページは、厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)を受けて作成されました。

Copyright(c) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology



東京都健康長寿医療センター
病理解剖コラボレーション(共同研究)事業

- ホーム
- 研究の紹介
- 倫理的配慮及び関連法規
- ご遺族の皆様へ
- 病理解剖例の特徴
- 共同研究を希望される研究者の方へ
- 共同研究事業運用要綱
- お問い合わせ
- このホームページについて
- リンク



HOME > 病理解剖例を用いた共同研究事業一覧 > 切片上でのアポプロテイン E多型の検出

病理解剖例を用いた共同研究事業一覧

研究課題名

切片上でのアポプロテイン E多型の検出

共同研究者

氏名	所属	職名
村山繁雄	東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク	リーダー
齊藤祐子	東京都老人医療センター創設病理科	医員

研究内容

アポプロテインE4多型特異抗体を用いることで、切片上で、アポE4保因者の検出が可能であることを明らかにした。

研究業績

#	論文名	リンク
1	Saito Y, Ruberu NN, Harada M, Arai T, Sawabe M, Nukina N, Murayama S. In situ detection of apolipoprotein E epsilon 4 in archival human brain. Neuroreport. 2004;15(7):1113-1115.	参照

このホームページは、厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)を受けて作成されました。

Copyright(c) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology



東京都健康長寿医療センター
病理解剖コラボレーション(共同研究)事業

HOME > 病理解剖例を用いた共同研究事業一覧 > 高齢者タウオパチーの分子臨床神経病理学的研究

病理解剖例を用いた共同研究事業一覧

ホーム

研究の紹介

倫理的配慮及び関連法規

ご遺族の皆様へ

病理解剖例の特徴

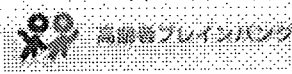
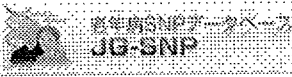
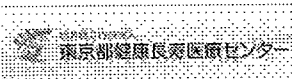
共同研究を希望される
研究等の方へ

共同研究事業運用要綱

お問い合わせ

このホームページについて

リンク



研究課題名

高齢者タウオパチーの分子臨床神経病理学的研究

共同研究者

氏名	所属	職名
村山繁雄	東京都老人総合研究所高齢者ブレインバンク	リーダー
齊藤祐子	東京都老人医療センター剖検病理科	医員

研究内容

高齢者タウオパチーの分子臨床神経病理学的研究として、嗜銀顆粒が変性型老化性変化として段階的増加を示し、一定レベルを超えると臨床症状としての認知障害を出すことを明らかにした。

研究業績

#	論文名	リンク
1	Saito Y, Ruberu NN, Sawabe M, Arai T, Tanaka N, Kakuta Y, Yamanouchi H, Murayama S. Staging of argyrophilic grains: an age-associated tauopathy. J Neuropathol Exp Neurol. 2004;63(9):911-918.	参照

このホームページは、厚生労働科学研究費補助金(創薬基盤推進研究事業)を受けて作成されました。

Copyright(c) Tokyo Metropolitan Geriatric Hospital & Institute of Gerontology